

## 「心を耕す」

心を田んぼになぞらえた、心田という言葉がある。私たちの心は時に、草ぼうぼうで石がゴロゴロ転がった荒れ放題の田んぼになってしまう。荒れてしまった心田は、また一から土を掘り起こし、鍛錬するしかない。自分の心は、自分で耕すほかないのである。よく耕された、豊かな土地に蒔かれた種子のみが、多くの実を結ぶ。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

七十二候「水始涸（みずはじめてかる）」田んぼから水を抜いて、乾かし始め稲穂の刈り入れをする時期を表しています。稲作は、種籾選別・育苗・田起こしを経て田植えとなり、その後は水の管理や草取り、台風への備えなど様々な労力と配慮、時間をかけることで育ちます。この時期、陽の光を浴び黄金色に輝き、秋風に揺れる風景は収穫の秋と、実りの喜びを感じさせてくれます。

私たちの心も、田んぼと同じように手入れをせず放っておくと心が乱れ、不安や不満、嫌悪感で心が曇ってしまいます。上手く行かないことも、考えた通りに進まないこともたくさんあります。そんな時は、自分の状況を把握し苦しいこと、悲しいこと、不安な心の声に耳を傾けることが必要になると思います。焦らずゆったりとした時間を持ち気持ちに向かい自分を認めることで心が落ち着き、周囲へ目を向け感謝をする気持ちや小さな幸せを感じ、次なる行動へと移せるようになるのではないのでしょうか。

子どもたちが生きるための根をしっかり張り、その子らしい素敵な実を付けられるよう、愛に溢れた眼差しや言葉の中で安心感を持ち過ごし、豊かな感性や表現、心を育む保育を行っていきたいと考えております。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

2019年度 年主題

【ことばに満たされて～ひびきあう～】

2019年度 年主題聖句

【その人は流れのほとりに植えられた木。】

詩編 1編 3節

【 10月聖句 】

「ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、」

マルコによる福音書 4章 8節

【 10月主題 】

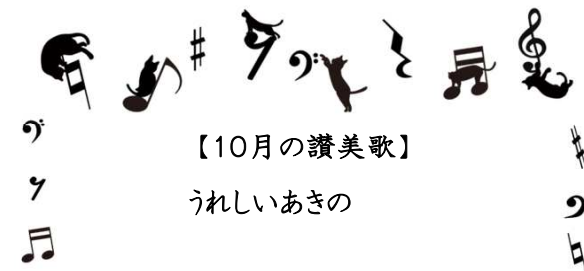
「楽しい」

0歳

- ・保育者と一緒にさんびかを歌おうとする
- ・這う、歩くなどの動作を楽しむ
- ・友だちや保育者と散歩を喜ぶ
- ・わらべ歌や手遊びを喜ぶ

1、2歳

- ・見えない神さまの存在を感じ、安心する
- ・保育者やまわりの友だちと共感しながら過ごす
- ・ことばのやりとりが面白くなる
- ・体を動かすことを楽しむ



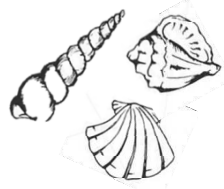
## 10月の予定表

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10 総練習	11 運動会	12	13
14 体育の日	15 身体測定	16	17	18	19	20
21 避難訓練	22 即位礼正殿の儀	23	24	25	26	27
28	29	30 クレイシュ通信	31			
備考 ◎運動会は10月11日金曜日に行います。詳細はガイドブックにてご確認をお願いいたします。						

### 【 お願いとお知らせ 】

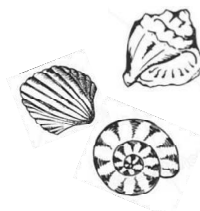
- ・朝夕と昼間での気温の差が大きいので半袖や薄手の長袖など気温に応じ調節できるよう着替えの準備をお願いいたします。

### 0歳児 mer(海) 組の子どもたちの姿～



木々の葉の色が変わり始め、秋の気配がますます深まってきました。気持ち良い秋晴れの下、伸び伸びと身体を動かし、歩行の距離もどんどん増えています。2.3歩進んでは手を付きながら、立ち上がって歩くを繰り返し、保育者が名前を呼び掛けると、一生懸命足を前に進め、たどり着くと満面の笑みを浮かべています。また、ジャングルジムに掴まり片足を掛けたり、滑り台の手すりに掴まりながら一段ずつ登ったりと、年上の友だちの遊びを見て、一緒にやってみようという挑戦する姿も多く見られるようになりました。歩行が始まって探索行動が盛んになり、新しい発見や経験に心躍らせている子どもたちと、楽しい気持ちに寄り添い共感しながら、安全に身体をたくさん動かせる環境づくりに努めていきたいと思っています。

生活の中でも、新しいことが日々できるようになっています。手洗いでは、両手をこすり合わせるような仕草や、洗い流そうと水に手を伸ばす姿も見られます。また、食事前や朝の会、帰りの会など、手を合わせたりお辞儀をしたり、時には声を発し挨拶やお祈りをしています。異年齢との関わりの中で、より自分もやってみようという向上心が芽生えているように思います。思いや気持ちをくみ取りながら育ちを支えていきたいと思っています。



### 1歳児 terre(大地)組の子どもたちの姿～

木々の葉の色が変わり始め、秋の訪れも目に見えてわかるようになってきました。

気持ちよい秋晴れの中、大きな紙いっぱい、手や足を使って絵の具遊びをしました。好きな色を自ら選び手足にたっぷり浸け感触を味わったり、触れることで段ボールや和紙など紙の違いにも気付くことが出来たように思います。また、友だちの遊ぶ様子を見て面白そう！と自らの遊びにも取り入れ楽しむ様子や友だちと手を繋ぎ紙の上を一緒に歩いたり振り返り綺麗に色付いた足跡を嬉しそうに見つめたり、色が変わった手のひらや足裏を見せ合い「みて」「赤いよ」と嬉しそうに話す姿も見られました。初めは、指先だけ絵の具をつけていた子も次第にダイナミックに、そして想像力豊かに遊んでいました。

手洗いでは、絵本で覚えた親指を洗う「バイクのポーズ」や手の甲を洗う「カメのポーズ」なども少しずつ上手になり、綺麗になった時の気持ち良さや清潔にすることの大切さを学んでいます。

基本的な生活習慣を身に付け、自分で出来る！を増やせるよう楽しみながら保育に取り入れていきたいと思っています。

### 2歳児 ciel(空) 組の子どもたちの姿～

新年度が始まってから早いもので半年。あっという間に10月ですね。季節はすっかり秋模様となり、虫の声や木の実など秋ならではのものを見つけることが出来ます。

子どもたちが育ててきたフウセンカズラも薄緑色の風船のように膨らんだ実が茶色へと変化してきました。「ここにも見つけた」と、そっと触れ枝を切らないように優しく摘み取ったり「カサカサする」と、耳のそばで振って聞こえる音に耳を澄ましたりする姿も見られました。慎重にその実を開いていくと小さな黒い種に可愛らしい白い模様を見付け「見て～あったよ」「ハートだ」「かわいいね」と発見に大喜びしていました。

春に種を蒔き、水やりなどの世話をすることで「芽が出た」「白い花がある」と植物の変化に気付き、成長していく過程を毎日の世話をしながら継続的に見ていく体験の中好奇心や探究心が芽生え、さらには愛着や喜び・満足感が味わえたように思います。

生命あるものに触れ親しむことで興味関心が湧き、変化や不思議さなどを感じることで大切にすることや優しさが育まれています。

これからも実体験を通し心が動く活動をさらに取り入れていきたいと考えています。

